

受験番号

# 基礎学力検査 (60分)

(2025年度公募制推薦Ⅲ)

英語分野.....英 1～6

国語分野.....国 1～15

## 注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。
3. この問題冊子は表紙を除き、英語分野 6 ページ、国語分野 15 ページの計 21 ページです。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
  - ① 氏名欄 漢字氏名を記入してください。
  - ② 科目名欄「基礎学力検査」と記入してください。
  - ③ 受験番号欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
6. 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
7. 解答は、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。

例えば **20** と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように

**20** の解答マーク欄の③にマークしてください。

(例)

	<b>解答マーク欄</b>
<b>20</b>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ○ ⊕

解答マーク欄に複数のマークをすると、不正解になります。訂正するときは消しゴムできれいに消して書き直してください。

8. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
9. 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

# 英 語

(解答番号  ~ )

第1問 次の各文の空所に入れるのに最も適当なものを、それぞれ①～③のうちから一つずつ選びなさい。

[解答番号  ~

- (1) He was able to provide the police (  ) some valuable information.  
① of                                      ② with                                      ③ for
- (2) He opened the bag, which (  ) a razor, soap, and a towel.  
① consisted                              ② contained                              ③ concluded
- (3) Investigators say the fire probably broke (  ) in the hotel kitchen.  
① out                                      ② off                                      ③ down
- (4) Social media has made it easier to stay in (  ) with old friends and acquaintances.  
① touch                                      ② order                                      ③ trouble
- (5) Strong winds blew the yacht several miles away from its intended (  ).  
① definition                              ② destruction                              ③ destination

第2問 次の会話の空所に入れるのに最も適当なものを、下の①～⑤のうちから一つずつ選びなさい。

[解答番号  ~

Chad : I heard you had your first date with Rob on Saturday. (  )

Angela : Not bad, but it didn't go totally smoothly.

Chad : Uh-oh. What happened? (  )

Angela : Yeah. I booked the tickets online for the 7 o'clock showing at the Sunrise Theater downtown. (  ) But by ten to seven, Rob hadn't shown up. And my cell phone had died.

Chad : Oh, no. What did you do?

Angela : The guy at the box office<sup>(注)</sup> let me charge my phone, and I called Rob. (  )

Chad : Ah, he went to the Sunrise Theater at the mall, didn't he?

Angela : Exactly. So I told him to hurry and meet me downtown. By the time he arrived, the movie had started. (  )

Chad : I bet Rob was upset.

Angela : He was pretty embarrassed. But the movie was funny, so he'd cheered up by the end.

(注) box office : (映画館などの) チケット売場

- ① You went to the movies, right?
- ② We agreed to meet there early so we could have coffee first.
- ③ We missed the first ten minutes.
- ④ How did it go?
- ⑤ He'd gone to the wrong theater.

**第3問** 日本文の意味を表すように( )内の語句を並べかえた場合、( )内で3番目にくるものを、それぞれ①~④のうちから選びなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示してあります。

[解答番号  ~  ]

(1) 彼女が家を売りたいって本気なの?

Is she (① about ② to ③ serious ④ wanting) sell the house?

(2) 私は時間があるときには大いに読書を読みます。

I (① of ② reading ③ a lot ④ do) in my free time.

(3) この家は収納スペースが全然足りません。

(① in ② lack ③ what ④ we) this house is space to store things.

(4) 私は写真を撮られるのが大嫌いだ。

I hate (① my ② having ③ taken ④ pictures).

(5) 強い地震の後、その町は外とまったく連絡が取れなくなっています。

Following a severe earthquake, the town (① from ② is ③ off ④ cut) contact with the outside world.

第4問 次の文章を読んで、下の設問に答えなさい。[解答番号 16 ~ 25]

(1) Gertrude Bell was born on July 14, 1868, in Durham, England. She was one of the first women admitted to Oxford University, where she studied history. When she was 37, she began exploring Arabia. She set off on an expedition to Syria and surrounding areas. Her explorations brought her such happiness that she decided to (A) continue living in the Arab world.

(2) The Arabs called Gertrude Bell a “daughter of the desert.” This is because Bell liked traveling throughout Arabia, Syria, and Asia Minor<sup>(注1)</sup>. She chose to travel in the area for about a decade. From 1905 to 1914, she studied ancient sites and artifacts<sup>(注2)</sup> used by people thousands of years before. She also mapped the sites of (3) wells. The location of these springs was important because water is so hard to find in the desert. Perhaps most importantly, however, she established ties with people in Arabia. Many of these relationships were with the highest-ranking leaders of the Arab world. As Bell traveled, she took photographs, kept detailed notes and a diary, and wrote long letters. She used (4) this material to write and publish a number of books and articles.

Bell had become such (5) an authority on the languages, history, culture, and politics of Persia and Mesopotamia that she was asked to work as an expert for the British government. She worked in Egypt and Iraq. While in Iraq, she composed laws designed to (B) protect Iraq's many ancient artifacts. She also founded the country's archaeological<sup>(注3)</sup> museum. In 1921, Prime Minister Winston Churchill invited her to (C) participate in the Cairo Conference where Iraq's (6) boundaries would be determined.

Bell died on July 12, 1926. In recognition of her achievements and contributions, the British government gave her a full military funeral. She was buried in Baghdad, the city she had loved and lived in until the end.

(*Wide Angle 4*, Oxford University Press, 2019)

(注1) Asia Minor : 小アジア (アジア西端にあって、現在のトルコがその大半を占める地域)

(注2) artifact : 遺物、埋蔵物

(注3) archaeological : 考古学の

問1 下線部(1)に関して、第1段落の記述に一致しないものを、次の①～③のうちから一つ選びなさい。

16

- ① 1868年にイギリスで生まれた。
- ② オックスフォード大学で歴史を学んだ。
- ③ 大学在学中にアラブ世界の探検にでかけた。

問2 下線部(2)の理由として最も適当なものを、次の①～③のうちから一つ選びなさい。 **17**

- ① Bell がアラブ地域を好んで探検・調査して回っていたから。
- ② Bell は外見だけでなく、考え方がアラブ人に似ていたから。
- ③ Bell の家族には、有力なアラブ人指導者たちとのつながりがあったから。

問3 下線部(3)と本文中で同じ意味で用いられている語を、次の①～③のうちから一つ選びなさい。

**18**

- ① springs
- ② ties
- ③ leaders

問4 下線部(4)の具体例として本文中に挙げられていないものを、次の①～③のうちから一つ選びなさい。

**19**

- ① pictures taken during her travels
- ② items collected during her travels
- ③ memos written during her travels

問5 下線部(5)を言い替えることができる語句として最も適当なものを、次の①～③のうちから一つ選びなさい。

**20**

- ① an expert
- ② a government
- ③ a law

問6 下線部(6)の意味として最も適当なものを、次の①～③のうちから一つ選びなさい。 **21**

- ① 運命
- ② 境界線
- ③ 主義主張

問7 波線部(A)～(C)の単語について、最も強く発音する音節の位置が同じものを、それぞれ①～③のうちから一つずつ選びなさい。

(A) con-tin-ue **22**

- ① pol-i-tics
- ② pho-to-graph
- ③ de-ter-mine

(B) pro-ject **23**

- ① pub-lish
- ② ad-mit
- ③ ex-pert

(C) partic-i-pate **24**

- ① re-la-tion-ship
- ② rec-og-ni-tion
- ③ mil-i-tar-y

問8 本文の内容と一致するものを、次の①～③のうちから一つ選びなさい。 **25**

- ① Bell のアラブ世界への探検・調査の旅は 40 年に及んだ。
- ② Bell はアラブ地域に居住し、亡くなった時にはバグダッドに住んでいた。
- ③ Bell はアラブ世界で人脈を築いたが、政治からは常に距離を置いていた。

国  
語

(解答番号

26

5

50

)

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1・問2)に答えなさい。

(注) 高取正男は『民俗のこころ』で、「ワタクシ」というのは<sup>a</sup>チヨウシヨウ的な名辞として使われていたのではなく、つねに具体的な事物に即して用いられ、家族員の私的な貯え<sup>たくわ</sup>そのものをさす言葉としても使われていた」と述べ、家にある茶碗<sup>ちやわん</sup>が家族のひとりひとりに帰属していることをよりどころに、「ワタクシ」の起源と機能、人情について説明を試みている。

日本ではどの家庭でも、子どもが赤ん坊の段階を過ぎ、幼児の段階に進みはじめると、その子どものために専用の食器や寝具を用意するのが習慣になっている。つまり、自分の茶碗、自分の箸、自分の枕が明確にされ、幼いころから分け与えられているのである。こうした習慣は、一般の家庭では大人になっても引き継がれるが、西洋料理や中華料理に用いる食器は、形の大小や模様などから大人用と子供用に分けることはあっても、だれの皿や鉢と決まっていない。いっぽうで、個人専用の食器が用意されているのは茶碗や箸、湯呑みといった、昔から日常で頻繁に使用される身近なものにかぎられている。つまり、家庭のなかでは、個人用の食器を用意するほうが伝統的なやりかたで、西洋料理や中華料理に使う大型の皿類などを家族間で共用するのは新式のやりかたなのだ、高取は指摘する。

また、<sup>b</sup>ケンヤクをよくした時代から、弁当に使う割箸<sup>わりばし</sup>は使うたびに捨てるのが原則で、現代でも使った箸を二つに折って捨てる人がいる。高取によると、これは自分の使った箸を他人に使われないようにするためで、他人に使われると自分の魂まで奪われるように思う心情によるものだろうという。

「箸はいちばん身近な食器であるだけに使う人の分身のように考え、その使いかたに鋭い神経をくばり、さまざまの作法や禁忌をまもってきた。サイ。ヤクが身におよばないよう、細心の注意を払ってきたわけである」(『民俗のこころ』)

家庭や職場で湯呑みなどを間違えたとき、使ったほうも使われたほうもが発する言葉は、所有権やプライバシーの侵害などではなく、侵すべからざるものを侵したことにたいする驚きや嫌悪といった心情的で感覚的なものに根ざしている。つまり、「ワタクシ」の食器は、それをもつ人の霊性にもとづくものであり、他人がそれに触れることはケガレの伝染とみなされたのである。言いかたを換えれば、そこには「その人らしさ」が付着していると認識されていたのではなかったらうか。

「祖先たちの保持したそのような「ワタクシ」は、近代的な自我以前のものである以上、必然的に禁忌(タブー)とか儀礼によってその存在をあらわす以外にないものであった」(同前)

葬式で出棺の際に門口で茶碗を割る風習はいまでもおこなわれているが、花嫁が婚礼で生家を出るときにも、同じようなことをする地方がある。これは、茶碗を割ることで食物を通した家族としての縁を断ち、家に再び戻ってくることを妨げようとする呪術的な行爲だった。言い換えると、死んだ人や嫁ぐ人が日常的に使ってきた茶碗を割ることで、その家の構成員として保持してきた「私権」や「ワタクシゴト」の放棄をシヨウチヨウするものだったと考えることもできる。

民俗学で「ワタクシ」は、女性にとつて家族、家庭に属さない専有物、いわゆる「ヘソクリ」を意味するものとして語られてきた。辞典でも「わたくし【私】」の方言における名詞としての語義には、「①奉公人の休日」、「②私のもの」、「③ないしょの金。へそくり」、「④働いて得た金を貯蓄しておくこと」(『日本国語大辞典』)とあり、「ワタクシ」を「ヘソクリ」の意味で使っている地域は全国に及んでいる。

「女にも最少限度の財産が認められていた。これをワタクシというの古くからの名であつたらしい。」(『改訂 綜合日本民俗語彙』)

沖繩地方で「ワタクシ」は一般的に「ワタクサー」と言い、奄美群島の沖永良部島おきのえらぶじまの「ワタグシ」は、金銭以外に土地や牛、羊など、隠しようのないもので女の財産になった。香川県の旧三豊郡みとよでは、親や夫の目を盗んで米を買ったりするのを、「ワタクシ」をすと言った。丹波の山村では、「ワタクシ」は、女性が家事を終えてからほかの家に手伝いにいたり、夜なべをして俵たわなどを。アんだりして得た収入や、娘が奉公に出て得る給料のことも言う。また奈良県南部では女房の内証金のほか、奉公人の休日を「ワタクシ」と言う。つまり家長の管理外に保有されている財産で、こうした給金は自分のものにすることを認められていたのである。

「ヘソクリ」を意味する方言で最も多いものは、家庭内で女性が身のまわりに置く小箱の類の呼び名で、ヘソクリをさしている例である。東北地方で「ザモバコ」と呼ぶのは、針さしやハサミ、布切れなど、女性たちが私有物を入れておく箱のことで、こうした箱が使われなくなった後でも名前だけが残って、ヘソクリを意味する言葉に転化したようなのである。つまり、伝統社会において女性たちの「自分」は、こういうものによつて表現されたと言つてよい。

女性のヘソクリは、「オボケゼニ(芋桶錢)」や「ハリバコギン(針箱銀)」などとも呼ばれたようである。芋桶おぼけとは、ツムいだ麻糸を入れておく桶のことで、昔から女の表道具、その人の身分や職業を代表する道具だとされてきた。また針箱も、女性にとつて一生の持ち物として身近に置き、嫁入りにも持参し、女性の身体の一部であり、持ち主の分霊が宿る分身と言えらるものだった。

「他人の芋桶や針箱をかきまわすと指が腐る」などと言ひ、「女房の針箱や芋桶をのぞく亭主は、それだけで村の笑いものになった」(『民俗のこころ』)と言う。内緒の金でもこれらの道具の中に貯えこむのは女の権利で、公然の秘密として認められていて、お金を貯えるのが内緒だったのでなく、その金額を公表しなかつただけなのだ。のぞかれることすら忌避する「ワタクシ」は、字義どおりに「自分の分」であり、物の形を取りつつも、侵犯を拒む霊的なものだったのである。

(畑中章宏「自分らしさ」による)

(注) 高取正男 一九二六—一九八一年。民俗学者・歴史学者。

問1 傍線部 a～f のカタカナにあたる漢字を用いている熟語を含むものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号

26

31

〕

a チユウシヨウ

26

- ① 折衷案をねる。
- ② 実力が伯仲する。
- ③ 抽選に当たる。
- ④ 昆虫を採集する。
- ⑤ 支局に駐在する。

b ケンヤク

27

- ① 真剣に取り組む。
- ② 節儉に努める。
- ③ 研究者を目指す。
- ④ 生命保険に勧誘される。
- ⑤ 定期的に点検する。

c サイヤク

28

- ① 主役に選ばれる。
- ② 躍起になって抗弁する。
- ③ 農薬を散布する。
- ④ お守りのご利益にあやかる。
- ⑤ 厄介な仕事を引き受ける。

d ショウチヨウ

29

- ① 顔が紅潮する。
- ② 盲腸の手術をする。
- ③ 受付で記帳する。
- ④ 特徴をつかむ。
- ⑤ 記録に挑戦する。

e アンだり

30

- ① 偏食をなおす。
- ② 領土を返還する。
- ③ 雑誌を編集する。
- ④ 各地を遍歴する。
- ⑤ 会場の周辺を警備する。

f ツムいだ

31

- ① 紡績工場で働く。
- ② 遺体を解剖する。
- ③ 知事の参謀となる。
- ④ 存亡の危機に直面する。
- ⑤ 株価が暴落する。

問2

本文の内容と合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

32

〕

- ① 日本では、幼児の時から自分だけの茶碗や箸や枕が与えられるように、近代以前から自我の重要性が認められてきた。
- ② 「ワタクシ」という言葉は、家庭内での女性たちの私有物を意味していたように、本来は女性のみの一人称であった。
- ③ 自分の茶碗や箸を、たとえ家族の者であっても他人に使われると嫌悪感をおぼえるのは、日本人が潔癖だからである。
- ④ 死んだ人や嫁ぐ人が日常的に使っていた茶碗を割る風習には、所有権やプライバシーの侵害という呪術的な意味がある。
- ⑤ 「ワタクシ」という言葉は伝統的に個人の所有物を意味しており、例えば女性のヘソクリもこの言葉で語られてきた。

**第2問** 次の文章は、二〇〇九年に発表されたものです。これを読んで、後の問い(問1、問4)に答えなさい。(本文の表記を一部変更しています。)

全国学力・学習状況調査(いわゆる全国学力テスト)がおこなわれた。翌朝のどの新聞にもその試験問題が掲載されているが、とにかく細かい印字なので、度が合わなくなっているいまの老眼鏡では眼が疲れ、とても最後まで読み通せない。裸眼にするとこんどは全体が入ってこない。難儀なことである。題材の選択に工夫がこらされており、ちよつと変わってきたかなという直感があったが、いいかげんな感想を述べてはならない。漢字の読みが小学校も中学校とも三題だけなのは、ひよつとしてだれかへの配慮なのか……。冗談とはいえ、これは口にはいけないことでした。(1)

それよりも「学力」とは何なのか。文部科学省の学習指導要領は近年、「生きる力」ということを謳<sup>うた</sup>ってきたが、この「生きる力」のなかに「学力」はどのように位置づけられるのか。この説明をわたしはこれまで、納得できるかたちで目にしたこと、耳にしたことがない。が、この点があるからかでないか、これで三回目になる学力テストが何のために続けられるのか、はつきりしない。「学力向上」というきわめて限定された目的のために授業の現状を分析するための調査だとすれば、五〇億円をかけるのは太っ腹にすぎるとおもわなくてもいい。それより教育環境の整備に資金を投入したほうがよほどいい。(2)

「学力」ということでもいつも思い出すのは、ある発達心理学者がお子さんの学校での苦い経験として語ってくださった一つのエピソードである。そのお子さんは、小学生のころ、古い卵と新しい卵とを見分ける方法を授業で習った。黄身が高く盛り上がっているのが新しく、黄身が平べったくなっているのが古いと教わったそう。割ってから卵の新しいさを確かめるというのだから、そもそも何のための調べごとかよくわからない。

(イ)、これがあとで試験に出たのである。「図のような二つの卵があります。あなたはどちらを食べますか？」こうした設問を課せられて、お子さんは迷いなく平べったいほうに丸をした。彼以外のクラスメートはみな、盛り上がっているほうに丸をした。結果、彼だけが「誤答」とされた。お子さんしてみれば、冷蔵庫から卵を二個取り出して、賞味期限に差があれば、まず古いほうから食べるといのがあたりまえのことである。それが不正解とされて、彼はひどく傷ついたのだ。

「どっちが新しいのか？」と問うのに「どっちを食べるか？」という問いを立てるといのがそもそも論理的でないのだが、それはさておき、この問いは、そもそも何のために新しいか古いかを調べるのか、それが判ったらでは次にどうするのかというふうには、日常生活のコンテキストのうちに位置づけられていない。(ロ)、設問として孤立している。(ハ)、この知識はついに身につくことはないし、今後とも使用されることはない。両親が共働きのためじぶん料理することも多かったこのお子さんは、まさかそんな無意味な問いが出されているなどはつゆ思わず、家事というコンテキストのなかで、じぶんならどうするかと考えたのである。(3)

「学力」も「力」の一つである以上、何が「できる」ということである。(ニ) 国語の「学力」ということなら、読み書きが正確にできる、

論理的な思考ができる、文章の要約ができる……などなどである。けれどもそれらの能力を身につけることがなぜ求められるかといえ、いうまでもなく、社会のなかできちんときることができるといえるのである。とすれば、教育に携わる者が何を措おいてもまず問わなければならないのは、人は何を知るべきなのか、何がほんとうに知るに値することなのか、それを知ることが生きるといふことにとつてどういう意味をもっているのか、ということであるはずだ。この設問を課した教育者の念頭にこうした問いはなく、逆に、問われた子どものほうが答えるにあたってこのことをちやんと視野に入れていた。(4)

「力」といえば、多くの人は、物ごとをぐいぐい押し進めることのできる力、外からの強い力、しつかりと抗あうことのできる力をおそらくは思い浮かべるであろう。けれども人びとのあいだでしかと「生きる」ために凡人に必要なのは、たぶんそういう力ではない。他人の境遇に思いをはせることができる、他人の思いにきちんと耳を傾け、受けとめる力、すぐに答えが出なくても問いを手放さずにしつこく問いつづけられる力、じぶんの意見が通らずとも辛抱する力、無理難題を突きつけられてもあきらめず、へこたれもせず解決を模索しつづけられる力、対立する意見のなかでそれらをととりまとめることのできる力、それらを身につけることがよりいっそう大切であろう。さまざま意見や思いが錯綜さくそうするなかで、他者のそれを受けとめたり調整したりする力、それは学力テストでは測れない。社会的な現実においてはきちんとした一つの正解はない。そして、このように相対立する意見のなかで **A** することそのことが、じつは人の知性の、したたかともいうべきためや興行きを育んでゆく……。 (5)

はじめは老眼のせいにしたのだが、こういう視点をもたない「**B**」学力テストには関心がないというのが、たとえ工夫がこらされたにしてもその問題内容にあれこれ注文をつける気がしなかったほんとうの理由である。

(鷲田清一『パラレルな知性』による)

問1 空欄(イ)〜(ニ)を補う言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の①〜⑤のうちから一つ選びなさい。

- |   |          |                                  |         |          |
|---|----------|----------------------------------|---------|----------|
| ① | イ  とところが | <input type="checkbox"/>   つまり   | ハ  だから  | ニ  たとえは  |
| ② | イ  とところが | <input type="checkbox"/>   だから   | ハ  たとえは | ニ  つまり   |
| ③ | イ  だから   | <input type="checkbox"/>   とところが | ハ  たとえは | ニ  つまり   |
| ④ | イ  だから   | <input type="checkbox"/>   つまり   | ハ  たとえは | ニ  とところが |
| ⑤ | イ  だから   | <input type="checkbox"/>   たとえは  | ハ  つまり  | ニ  とところが |

〔解答番号〕

33

問2

空欄

A

を補うのに最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号

34

〕

① 切歯扼腕せつしやくわん

② 一致団結

③ 以心伝心

④ 右往左往

⑤ 首尾一貫

問3

空欄

B

を補うのに最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号

35

〕

① 孤立した

② 配慮した

③ 対立した

④ 課せられた

⑤ 工夫された

問4

本文から次の文が抜け落ちています。戻すのに最もふさわしい箇所を、後群の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号

36

〕

皮肉なことである。

① ( 1 )

② ( 2 )

③ ( 3 )

④ ( 4 )

⑤ ( 5 )

第3問 次の文章中のA、B、C、Dの段落は順不同に並んでいます。論旨が通るように正しい順序に並べ換えたものを、後群の①～⑥のうちから一つ選  
びなさい。〔解答番号 37〕

一日はじつにさまざまな音でできている。必要な音。不必要な音。思いがけない音。強いられるような音。驚くような音。不安を掻きたてる音。途切れることのない低い音。押し殺したような機械音。どこまでも背後から追いかけてくるような音。思わずふりかえるような音。騒々しい音の隙間からこぼれてくる音。音の向こうにある音。聴こえている。しかし、聴いていない音。

日常のバランスの感覚を深いところでささえているのは、音だ。日常というのは、いつも耳にする、よく知った音でできている。耳になじんだ音のなかには、落ちついた時がある。ずいぶん聴いたことがない、けれども、いつかどこかで聴いた音を耳にすると、懐かしく感じる。突然、まったく聴いたことのない、激しい音を聴く。何か異常なことが生じたのだ。異常な音にはじまるのが、異常だ。

A たとえば、夏目漱石が『永日小品』に書きとめた日々の音は、次のような音だ。泥の音。森の中の雨の音。雨のざあーつという音。冬の半鐘の音。雨戸をはずして入って逃げた泥棒の足音。夜中に鼠が鯉節をかじる音。襖を閉める音。火鉢の切り炭のぱちぱち鳴る音。欄間に釘を打つ音。杉垣のつづく家から、微かに洩れてくる琴の音。正月に、鼓をかんと打つ音。春の日に、子どもがヴァイオリンを擦る音。

B 音がきつと、多すぎるのだ。多すぎるのは、もともとはなかった音だ。つくりだされた音だ。だが、つくりだされた音は、じつは音をしりぞける音だ。つくりだされた音が多すぎるということは、しりぞけられてきた音がそれだけ多いということだ。つくりだされた音に蔽われるままになってしまった音。聴きとることのかなわなくなった音。消されてしまった音。耳にしなくなった音。いつか失われていった音。

C とりわけ小さな音だ。古語に数多くあつて、今日の言葉に数少ないのは、小さな音を愛でる言葉だ。いまは小さな音がバズ（ブーンという音）に、耳ざわりな音にすぎなくなつて、日常にあつて、ひそやかな音に耳澄ますということが、心を楽しめますものと思われなくなった。心解かれるのは大きな音、それも他の音を圧する音だ。大きな音ばかりが世にはばかりようになって、日々の表情をつたえる音が少なくなった。

D 意識して、あるいは意識しないままに、周囲のさまざまな音のなかに好ましい音、好ましくない音、知った音、知らない音をみずから聴き分けることで、おそらくひとの心の秤は、微妙にたもたれている。音の景色は、すなわち心の景色だからだ。室内で聴く音。路上で聴く音。一人で聴く音。雑踏のなかで聴く音。散乱する音。不自然な音。かんがえられないような音。すべての音を覆いつくすような音。

火事の火の粉の飛ぶ音。激しく号鈴を鳴らしながら、馬の蹄とともに到着する（消防の）蒸気ポンプの音。青桐の枝を、植木屋が鋸で、ごしごし引いて切り下ろす音。窓の障子をがらりと開ける音。老いた猫の、くしゃみとしゃっくりともつかぬ、苦しそうな音。大通りをがららがら押されてゆく荷車の音。下駄の齒入れ屋が古い鼓を天秤棒にぶらさげて、竹のへらでかんかん叩きながら、垣根の外を通りすぎてゆく音。

④ ①  
C B  
| |  
A D  
| |  
B C  
| |  
D A

⑤ ②  
D B  
| |  
C A  
| |  
B C  
| |  
A D

⑥ ③  
D C  
| |  
B B  
| |  
C D  
| |  
A A

(長田弘『幼年の色、人生の色』による)

第4問

次のA～Eの各群の①～⑤のうちから、傍線部の漢字の読みが間違っているものを、それぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号

38

〕  
42

38 A

- ① 戦禍（せんか）をこうむる。
- ② 泰西（たいせい）の名画。
- ③ 茶席（ちやせき）に招かれる。
- ④ 粗品（そしな）を渡す。
- ⑤ 近代を超克（ちようかつ）する。

39 B

- ① 慈悲を施（ほどこ）す。
- ② お話を伺（うかが）う。
- ③ 親鳥がひなを育（はぐく）む。
- ④ 良書を薦（ほ）める。
- ⑤ 罪を裁（さば）く。

40 C

- ① 長広舌（ちようこうぜつ）をふるう。
- ② 井勘定（いかんじよう）で見積もる。
- ③ 大上段（だいじようだん）にかまえる。
- ④ 無造作（むぞうさ）に扱う。
- ⑤ 片意地（かたいじ）をはる。

42 E

- ① 車座 (しゃざ) になってすわる。
- ② 恰幅 (かつぶく) がいい。
- ③ 羨望 (せんぼう) の的となる。
- ④ 否応 (いやおう) なく従わせる。
- ⑤ 格下 (かくした) の相手に敗れる。

41 D

- ① 悪口雑言 (あくこうぞうごん) を浴びせる。
- ② 有象無象 (うぞうむぞう) の集まり。
- ③ 夏炉冬扇 (かるとうせん) のごとし。
- ④ 面従腹背 (めんじゆふくはい) のともがら。
- ⑤ 風流三昧 (ふうりゆうざんみ) の生活。

第5問 次の文章を読んで、後の問い（問1～問4）に答えなさい。

十四日の夜、<sup>(注1)</sup>少将内侍、<sup>(注2)</sup>女工所へ渡り居て、(1)心地なほわびしくて侍りければ、何事も知らず臥したるに、暁方、遙かより雪深きを分け入る杵の音の聞こゆるにおどろきて、心地をためらひて、<sup>(注3)</sup>やをら起き上がりて聞けば、「大宮大納言殿より」と言ふ。声につきて妻戸を押し開けたれば、いまだ夜は(3)明けぬものから、雪に白みたる<sup>(注4)</sup>内野の景気、いつの世にも忘れがたく、(4)面白しといへばなべてなり。

〔弁内侍日記〕による

(注1) 少将内侍作者弁内侍の妹

(注2) 女工所大嘗会 (天皇が即位後、初めて新穀を神々に供える神事) に際して、臨時に設けられた行事所の一つ。

(注3) 大宮大納言殿西園寺公相

(注4) 内野大内裏跡の広野

〔参考 現代語訳〕 (設問の都合上、空欄にしてある箇所があります。)

(陰暦十一月) 十四日の夜、少将内侍は、女工所に詰めていて、( )、何もかも構わず寝ていると、明け方、遠くから雪深い中をかき分けて来る杵の音が聞こえるので目を覚まして、( )、( ) 起き上がって聞くと、「大宮大納言殿から(のお手紙)」と言う。声を頼りに妻戸を押し開けたところ、まだ夜は( )、雪で白々と見える内野の景色は、いつまでも忘れがたく、( )。

問1 傍線部(1)「心地なほわびしくて侍りけれ」は、少将内侍のどのような様子を表していますか。最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕 43 「

- ① 機嫌が悪い様子
- ② 眠くて仕方がない様子
- ③ 体調がすぐれない様子
- ④ 独りで寂しい様子
- ⑤ 気分が乗らない様子

問2 傍線部(2)「やをら」の意味として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 44〕

- ① 急いで
- ② こわごわ
- ③ 喜んで
- ④ いやいや
- ⑤ そつと

問3 傍線部(3)「明けぬものから」の現代語訳として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 45〕

- ① 明けてしまうけれど
- ② 明けてしまうので
- ③ 明けないけれども
- ④ 明けないので
- ⑤ 明けないとしても

問4 傍線部(4)「面白しといへばなべてなり」とはどういうことですか。その説明として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 46〕

- ① このような風流な景色を眺めるのは初めてだということ
- ② 趣深いといった平凡な言葉では表現できないということ
- ③ あまりの新鮮さに眠気も吹っ飛んでしまったということ
- ④ 面白いなどと言ったら、不謹慎きわまりないということ
- ⑤ 趣のある景色とはいえ、普通のことであるということ

第6問 次の(1)～(4)の各文の傍線部の意味として最もふさわしいものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

[解答番号

47

50

]

(1) 月な見給ひそ。『竹取物語』

47

- ① ご覧なさい
- ② ご覧なさるな
- ③ ご覧になりますか
- ④ ご覧にならない
- ⑤ ご覧になるだろう

(2) 長者の家にかしづく女のありけるに、『宇治拾遺物語』

48

- ① 貴族
- ② 長男
- ③ 医者
- ④ 年寄り
- ⑤ 金持ち

(3) 年たけてまた越ゆべしと思ひきや命なりけりさ夜の中山『新古今和歌集』

49

- ① 思ったとおりだ
- ② 思ってみたいものだ
- ③ 思うだろうか
- ④ 思ってもみなかった
- ⑤ 思っほしい

(4) かかるほどにさぶらひ給ふ、例なきことなれば、まかで給ひなむとす。『源氏物語』

50

- ① 退出し
- ② 参上し
- ③ 申し上げ
- ④ 召し上がり
- ⑤ お休みになり